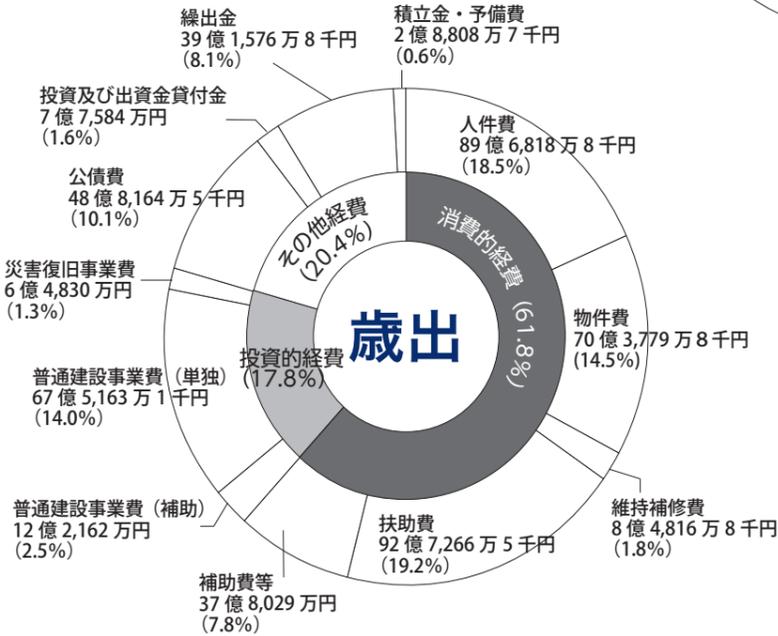
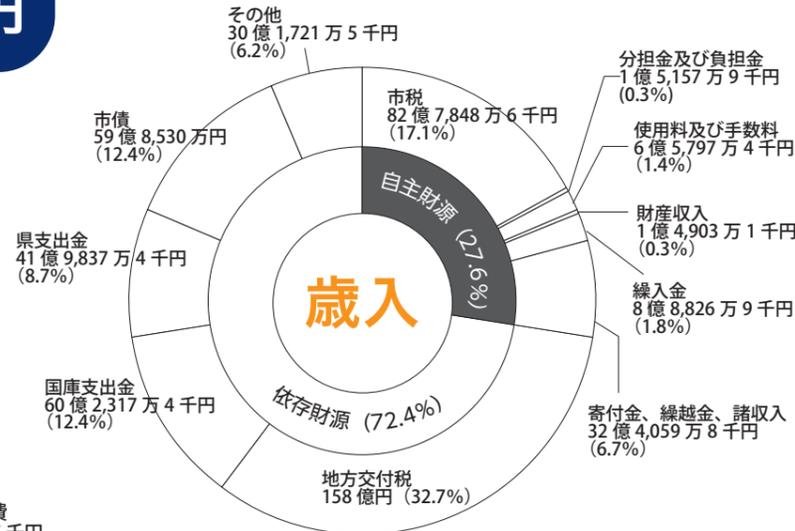


令和7年度一般会計は

483億9,000万円

※一般会計とは、地方公共団体の会計の中心となるもので、行政運営の基本的な予算です。

自主財源…市が自主的に収入可能なお金
依存財源…国や県から交付又は割り当てられるお金や借入金



消費的経費…後に形が残らない性質の経費
投資的経費…後に形が残る性質の経費

令和7年度 当初予算

— 未来志向のまちづくりの推進
次世代に希望をつなぐ —

予算書は
ホームページへ



4つの柱を基軸として、「未来志向のまちづくり」を推進してまいります。

☎ 財政課 財政係 (本庁舎5階) ☎ 0739 (26) 9918

📄 <https://www.city.tanabe.lg.jp/zaisei/honnenyosan.html>

■当初予算のポイント

1. 人口減少問題への対応

- 一次産業の担い手確保
- 地域コミュニティの再構築
- 二地域居住の推進
- 広域連携の推進



2. 節目(周年期)を生かしたまちづくり

令和5年度

- 紀州梅酒による乾杯及び梅干しの普及に関する条例制定 10周年

令和6年度

- 世界遺産登録 20周年
- サンティアゴ・デ・コンポステーラ市との観光交流協定締結 10周年

令和7年度

- 田辺市 20周年
- 世界農業遺産認定 10周年
- 大阪・関西万博の開催

3. 重要施策の推進

- 地方創生の推進 ◦ 防災・減災対策の強化 ◦ 地域のデジタル化・脱炭素化の推進
- 子ども・子育て環境の充実 ◦ 効率的・効果的な行財政運営の推進

4. 第2次総合計画に基づく施策の推進

後期基本計画は、以下の7つの政策で構成します。

〈人〉 〈活力〉 〈安全〉 〈希望〉 〈安心〉 〈快適〉 〈計画推進〉

歳出

人件費…職員等に支払われる経費	普通建設事業費…道路や建物等の建設事業費
物件費…公共用施設の維持管理のための委託や、市役所内の事務用品の費用等	災害復旧事業費…災害で被害を受けた施設等の復旧費
維持補修費…公共用施設等の維持・修繕費	公債費…国や県、銀行から借りたお金・利子の返済金
扶助費…子どもや高齢者等の福祉向上のための経費	投資及び出資金貸付金…投資や出資に係る経費等
補助費等…個人や団体に対する負担金・補助金や建物の火災保険料等	繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費
	積立金…基金の利息等を積立てるお金
	予備費…突発的な事態に備えたお金

歳入

歳入・歳出を見るための用語説明

市税…市民福祉の向上を目的に行う事業の経費を賄うため、市民の皆さんから納めていただくお金	繰入金…他会計から移動させた経費や基金を取り崩したお金
分担金及び負担金…特定の事業の受益者や養護老人ホーム等の利用者に負担してもらうお金	地方交付税…所得税等の国税が一定割合で地方に交付されるお金
使用料及び手数料…施設の利用者や特定のサービスの利用者に負担してもらうお金	国庫支出金・県支出金…学校建築や道路整備、福祉サービス等に対し、国や県から支出されるお金
財産収入…市の財産の貸付けや運用による収入	市債…学校建築や道路整備等、一時的に多くのお金が必要となる事業のために長期間にわたり借入れするお金

第2次総合計画（後期基本計画）に基づき、各種政策を着実に推進していきます。

■ 新生児聴覚検査助成事業 223万9千円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、新生児の聴覚検査費用を助成します。

■ 1人1台端末の更新 2億5,355万円

GIGAスクール構想により令和2年度に導入し、市立小中学校の児童生徒に配布したタブレット端末を更新します。

■ 小中学校給食費無償化事業 1,388万円

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を充実させるため、市立小中学校の児童生徒の給食費を無償化します。



■ 紀南文化会館改修事業 8,624万3千円

施設改修のための実施設計を行います。

■ 田辺市立美術館改修事業 1,562万円

老朽化が進んでいる施設の整備等を行います。



■ 就労選択支援給付費 200万円

障害者本人が、就労先や働き方のより良い選択ができるよう、短期間の生産活動等を通じ、本人の希望、就労能力や適性等に応じて支援します。

■ 熱中症予防対策事業 14万5千円

熱中症予防のため、普及啓発や高齢者等個々に応じた情報や、自宅以外で涼める場所を提供します。

■ 犬に関する各種手続きの利便性向上の取組 4万1千円

市役所窓口での飼い犬の登録手続きを不要とする、ワンストップ化を実施し、飼い犬の登録や注射済票の交付などの手続きに係るオンライン決済を導入します。（15ページ参照）

■ 道路整備事業 6,750万円

市内の主要道路である、市道神子浜8号線、市道目良線を整備します。

■ 小公園整備事業 3,000万円

市民の憩いの場として、上秋津地区に公園を整備します。



■ 第3次田辺市総合計画策定事業 1,085万円

第2次田辺市総合計画の計画期間が令和8年度末をもって終了することから、新たな計画の策定に着手します。

■ 田辺らしい自治のあり方研究事業 129万1千円

地域や社会の状況変化に応え、備えるために、住民自らが決めて自らが担う「田辺らしい自治のあり方」を研究します。

■ みんなでまちづくり補助金 1,200万円

市民による主体的なまちづくりを推進するため、市民団体が行う公的事業等に対して補助するもので、令和7年度は田辺市20周年記念事業に係る特別枠を設けて、市民提案による記念事業を推進します。



■ 万呂地区浸水対策事業 14億7,230万円

大雨時の浸水対策として、排水施設等を整備します。

■ はしご付消防自動車の共同整備 8,315万2千円

白浜町消防本部と共同で、はしご付消防自動車を整備します。

■ 消防救急デジタル無線設備整備事業 13億4,779万3千円

県及び県下消防本部が連携し、デジタル無線設備を整備します。

■ 消防通信指令システム整備事業 10億5,865万円

令和8年4月から消防指令業務を広域で共同運用するため、消防通信指令システムを整備します。



■ ふるさとブランド情報発信事業 2,900万円

テレビメディア等を活用した情報発信とともに、世界農業遺産認定10周年を契機として、首都圏でPRイベントを実施し、本市の認知度の向上と交流・関係人口の創出をめざします。

■ 田辺市20周年記念式典 286万円

新田辺市の発足から20周年を迎えることから、将来に向けて更なる飛躍につながるよう、記念式典を開催します。

■ みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会負担金 600万円

みなべ・田辺の梅システムの保全と活用のため、世界農業遺産認定10周年を記念して、みなべ町と連携してシンポジウム等を開催します。

■ 大阪・関西万博関連事業 1,566万円

国内外に本市の魅力を発信するため、2025大阪・関西万博の会場で、地域製品のPRをはじめ、観光PR、梅酒フェア、梅ジュース作りなどを実施します。

■ 漁業担い手育成支援事業 478万7千円

漁業者の確保と育成のため、漁業の担い手育成を支援します。

■ 梅酒ツーリズム事業 1,500万円

梅酒を活用した誘客促進や、梅の消費拡大による地域経済の活性化をめざします。

■ ふるさとセンター大塔整備事業 6,240万円

指定管理による施設の運営に向け、老朽化が進んでいる施設の整備等を行います。

【歳入】 地方消費税交付金
（社会保障財源化分）
……9億6,790万円

【歳出】 社会保障施策に要する経費
……159億6,820万1千円

地方消費税交付金 （社会保障財源化分）の充当事業

消費税率の5%から10%への引き上げ分の地方消費税収（地方消費税交付金を含む）は、社会保障施策に要する経費に充てることとされています。

区分	事業費	財源			主な事業
		特定財源	一般財源		
			地方消費税交付金の社会保障財源化分	その他	
社会福祉	104億9,203万1千円	70億7,735万2千円	4億1,014万7千円	30億453万2千円	生活保護扶助費、障害者福祉扶助費、施設型給付費負担金、児童手当及び児童扶養手当、母子生活支援施設措置費
社会保険	37億9,782万2千円	7億7,702万円	3億6,283万7千円	26億5,796万5千円	国民健康保険事業特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金
保健衛生	16億7,834万8千円	5,557万7千円	1億9,491万6千円	14億2,785万5千円	予防接種事業、妊婦健診事業、がん検診事業
合計	159億6,820万1千円	79億994万9千円	9億6,790万円	70億9,035万2千円	

※地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて按分し^{あんぶん}充当しています。

目的税の充当事業

租税の中で、一定の政策目的を達成するために用途を限定して課税されるものを目的税といい、本市では、都市計画税と入湯税があります。

◇都市計画税

都市計画税は、都市計画法に基づいて行う都市計画事業等に要する費用に充てます。

区分	事業費
都市計画事業	1億5,750万円
地方債償還額	3億4,478万1千円
合計	5億228万1千円

財源内訳	金額
国・県支出金	1,182万円
地方債	1億3,830万円
負担金その他	—
都市計画税収入額	3億3,677万8千円
一般財源等	1,538万3千円
合計	5億228万1千円

◇入湯税

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設その他消防活動に必要な施設の整備や観光の振興に要する費用に充てます。

区分	事業費
環境衛生施設の整備	1億2,432万2千円
鉱泉源の保護管理施設	—
消防施設等の整備	5億1,726万円
観光施設の整備	160万円
観光振興	4,950万円
合計	6億9,268万2千円

財源内訳	金額
国・県支出金	7,391万2千円
地方債	4億9,830万円
負担金その他	2,976万4千円
入湯税収入額	4,859万9千円
一般財源等	4,210万7千円
合計	6億9,268万2千円

特別会計	金額	増減率(%)
国民健康保険事業	89億4,762万9千円	2.4
(事業勘定)	89億2,252万6千円	2.4
(直営診療施設勘定)	2,510万3千円	0.4
後期高齢者医療	23億2,564万8千円	2.3
介護保険	97億8,600万円	0.6
分譲宅地造成事業	70万円	0.0
診療所事業	3億3,686万円	-2.9
駐車場事業	1,582万1千円	6.7
木材加工事業	3億8,600万円	21.6
四村川財産区	4,231万2千円	-2.7
合計	218億4,097万円	1.8

森林環境譲与税の充当事業

森林の持つ公益的機能を維持・発揮するための森林の整備とその促進に関する施策の財源として、市町村及び都道府県に対して森林環境譲与税が譲与されています。

【歳入】 森林環境譲与税
……4億3,588万6千円
【歳出】 森林環境譲与税充当事業
……4億5,437万9千円

主な事業	事業費
森づくり構想策定等委員会の運営	14万9千円
林業専門職員の雇用	533万8千円
森林経営管理制度運用事業（意向調査・森林整備等） うち森林の育てびと育成・確保事業	2億4,200万2千円 2,250万円
森林クラウドシステムの活用	40万円
紀州材使用住宅支援事業	600万円
森林整備担い手確保対策事業	420万円
林地残材等利用促進事業	470万円
民間施設木造木質化支援事業	750万円
景観と安全を守る山村集落森林整備事業	1,000万円
木のぬくもりプレゼント事業	116万9千円
ひき岩群国民休養地木製設備改修事業	1,630万円
渡瀬緑の広場バンガロー木製欄干改修事業	540万円
小・中学校教室床等木質化事業	2,400万円
森林環境教育推進事業	1,647万円
木材加工場用地取得事業	3,698万7千円
森林環境譲与税活用基金への積立	7,376万4千円
合計	4億5,437万9千円

